

# 加賀市における在宅医療・介護連携の推進

資料3

「石川県医療計画」の趣旨に基づき、平成25年度から、加賀市医師会をはじめ市内の関係団体・機関が一体となって、在宅医療・介護の連携促進の取り組みを実施。平成27年度からは地域支援事業の「在宅医療・介護連携推進事業」の事業項目を協働して実施している。

## 在宅医療連携グループ

### 「加賀市在宅医療連携推進協議会」

加賀市**医師**会

加賀市**歯科**医師会

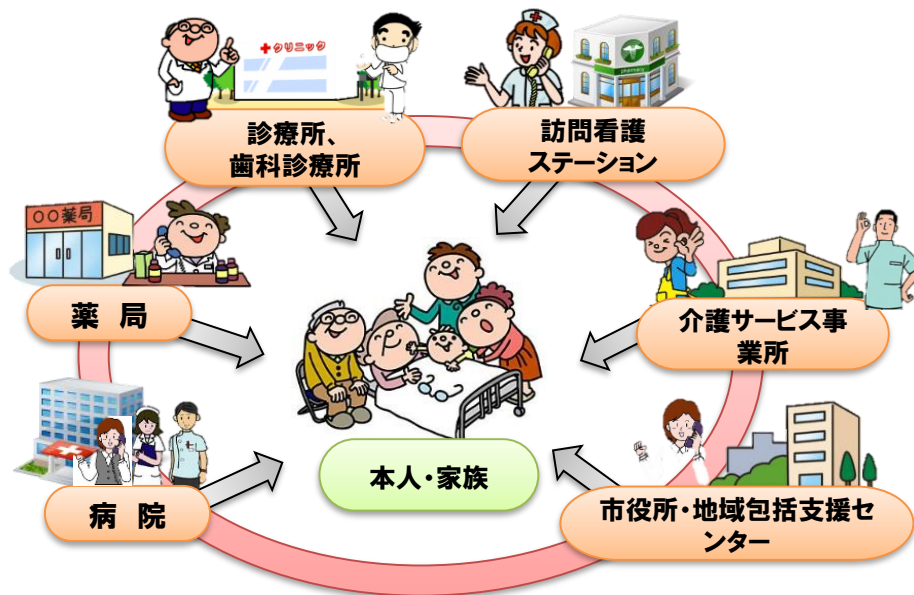
加賀市**薬剤**師会

加賀市**介護**サービス事業者協議会

病院

行政(加賀市)

医師会をはじめ、在宅患者本人と家族を支える関係団体・機関が互いに協力



※在宅医療連携グループ

「石川県医療計画」(平成25年4月)に定めるもの。地域における在宅医療・連携の関係者等が連携して推進に取り組む。医療計画では、人口7万~10万人に1グループ設置としている。

# 推進の体制

## 加賀市在宅医療連携推進協議会

### 幹事会

課題や今後の取組の方向性等を確認

#### 構成（関係団体・機関の代表者・在宅医療の担当）

加賀市医師会	医療法人社団元気会 加賀たちばな元気クリニック	橋 秀樹	加賀市介護サービス事業者 協議会	医療法人社団長久会 加賀のぞみ園	原 種孝
加賀歯科医師会	医療法人萌和会 すずき歯科クリニック	鈴木 一	病院（中核病院）	加賀市医療センター	白崎 直樹
石川県薬剤師会加賀支部	有限会社トラヤ薬局	宮河 哲夫	行政（加賀市）	加賀市健康福祉部	高川 義博

### ワーキンググループ

#### 医療・介護連携の課題把握、対応検討 （医療と介護の連携ワーキング）

- ねらい：① 医療と介護の連携が目指す方向の共有  
② ①のために、自分たち専門職ができることを考え、取り組む  
⇒ 医療と介護の連携の課題について、**自分たち（当事者どうし）**  
**で課題解決する自主的な取り組みができる**

- 実施内容：① これまでの検討会等で出された各職種やサービス、問題点等  
をもとに課題解決に向けた取組等を検討  
② コーディネーターへの相談内容から課題を抽出  
③ 在宅医療の資源情報の把握・共有  
④ 研修会、事例を用いた勉強会等、必要な対応の検討  
（次年度以降の計画含む）



メンバー：医師、歯科医師、薬剤師、看護師（訪問看護、病棟、地域連携部門、在宅医療コーディネーター）、ケアマネジャー、介護福祉士 等

# 在宅医療の資源の把握と共有

## 在宅医療の資源情報をまとめ、関係者に配布

- 医療と介護の連携を円滑なものとするための一つのツールとして作成
- 医師会でアンケートを実施し、冊子にまとめたもの。
- 冊子を作成するにあたっては、多職種参加のワーキングでもレイアウトなどを協議
- 市内の医療、介護関係者間でのみ情報を共有する前提で作成
- **歯科医院・薬局情報の掲載検討**
- **加賀市在宅医療連携推進協議会HPに掲載検討**

医療・介護職のための

### 医療・介護連携ガイド

## 加賀市の在宅医療情報 (医療機関リスト)

第1版



平成29年6月

加賀市在宅医療連携推進協議会

### 医療機関情報

#### 医療機関情報の見方

#### 診療所

かもまるクリニック  
院長 かも丸くん

〒922-8622 加賀市大聖寺南町二4 1  
TEL: 0761-72-1111  
FAX: 0761-72-0000  
ホームページ: <http://www.kamomaru-clinic.com>  
Eメール: kamomaru@kamomaru-clinic.com

医師: かも丸くん [内科・外科・小児科]  
外来診療

	月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30 12:00	○	○	○	○	○	休
午後	14:00 18:00	○	○	休	○	○	休

◆一言PR◆  
訪問診療も行っています。  
まずはご相談ください！  
他の医療機関や介護職の方々などに向けたPRコメントです。

◆在宅医療◆  
 かかりつ  
 かかりつ  
 通院して  
 新規の訪問診療 (要相談)  
 ロスバイト入院 (常病のみ)

◆処方箋・指示書◆  
 主治医発行書  
 訪問薬剤管理指導書  
 訪問看護指示書  
 訪問リハビリテーション指示書

◆介護との連携◆  
◎望ましい相談の連絡方法 (優先順位)  
医師と連絡をとる際の方法について、優先してほしいものから順位づけしています。

	訪問先	回数
◎	訪問先	(3)
◎	居宅	(1)
◎	一戸建て	(2)

◎の指 ( )  
△ポイント、相談等に対応しやすい曜日、時間帯

◎月 曜 日  
13:00~14:00

◆医療機関からの相談◆  
◆多職種の方への要請◆

- 掲載項目
- 診療日、診療時間
  - 往診、訪問診療の可否
  - 主治医意見書、各指示書等の対応の可否
  - 医師との連絡手段の優先順位
  - アポイントの取りやすい曜日や時間帯
  - サービス担当者会議等への参加の可否
  - 検査機器
  - 対応できる処置
  - PR など

# 専門職向けの研修会・勉強会

## 平成30年度 医療と介護の合同勉強会

### 【目的】

- ① 事例を通じて実践力を高める
  - ② 顔を合わせ話ができる機会を持つことで、多職種によるチームケアにつながる  
（“意見の言い合える関係”をつくる）
- ⇒ 住民（患者・利用者）の生活に生かすことができる

	実施日	テーマ	形式	参加者数
①	H30.6.7	【合同勉強会】 平成30年度ダブル改定からみえる地域包括ケアシステムの推進に向けて	講義	84
②	H30.9.20	【合同勉強会】 独居の看取りを考えよう	グループワーク	58
③	H30.12.17	【合同勉強会】 人生の最終段階における医療とケアの意思決定を考えよう	グループワーク	64

## 勉強会を通じてできたこと

- ① 事例を通じて実践力を高める
  - 他の職種への理解  
互いの分野を理解し、役割・活動・苦勞・捉え方・視点などが分かった
  - 本人の意向に寄り添った支援  
本人の意思を尊重した支援を学ぶことが出来た
- ② 顔を合わせて話ができる機会をもつことで、多職種によるチームケアにつながる  
(意見の言い合える関係をつくる)
  - 多職種の顔の見える関係の広がり  
医療側は介護側の取り組む姿勢が見えてきた  
介護側は他の職種との話し合える関係性ができた
  - 多職種によるチームケアの大切さ  
多職種がチームとなって、本人・家族の意向に寄り添った支援をする大切さが分かった



# 市民への周知啓発

かが健幸長寿講座

医療センターで月1回実施

## 「在宅医療とものがたり」 ～この街で最期まで自分らしく過ごすために～



講師

さとう のぶひこ  
佐藤 伸彦

先生(医療法人社団ナラティブホーム  
ものがたり診療所)

日時

平成31年1月26日(土) 午後1時30分～

会場

加賀市医療センター KMCホール

### 参加者アンケートから

- 「人の命は地球より重い」に考えさせられた
- 在宅医療の大切さや良さを知ることが出来た
- 今まで生きてきた人生を最期どのようにすればよいか考えていきたい
- これからも高齢者社会は続いていくが、夫婦の間でも子ども達との間でも人生の最期をどう過ごしていくか話し合っていきたい



# 在宅医療コーディネーターの取組

## 1. 相談対応(平成30年度1月時点)

- 相談件数……13件
- 相談者……ケアマネジャー、社会福祉士、保健師、看護師、訪問看護師
- 相談理由……自力での対応による課題解決困難
- 主な相談内容…医療・介護サービスに関すること  
訪問看護に関すること  
受診相談  
治療継続に関すること  
在宅療養生活の継続について  
医療依存度が高くなったため、家族の介護負担を必要とした など

## 2. 院内職員へ暮らしの視点を持った研修

### ①患者の満足する生活を考え支える会(隔月開催)

【ねらい】

・患者がなるべく早く“本人が満足する生活”へ戻れるよう、在宅での療養生活を続けられるよう支援する病院となるため、生活に目を向けられる職員を育成し、自らが取り組むことができる

### ②退院支援研修会

## 3. 地域との連携強化のために

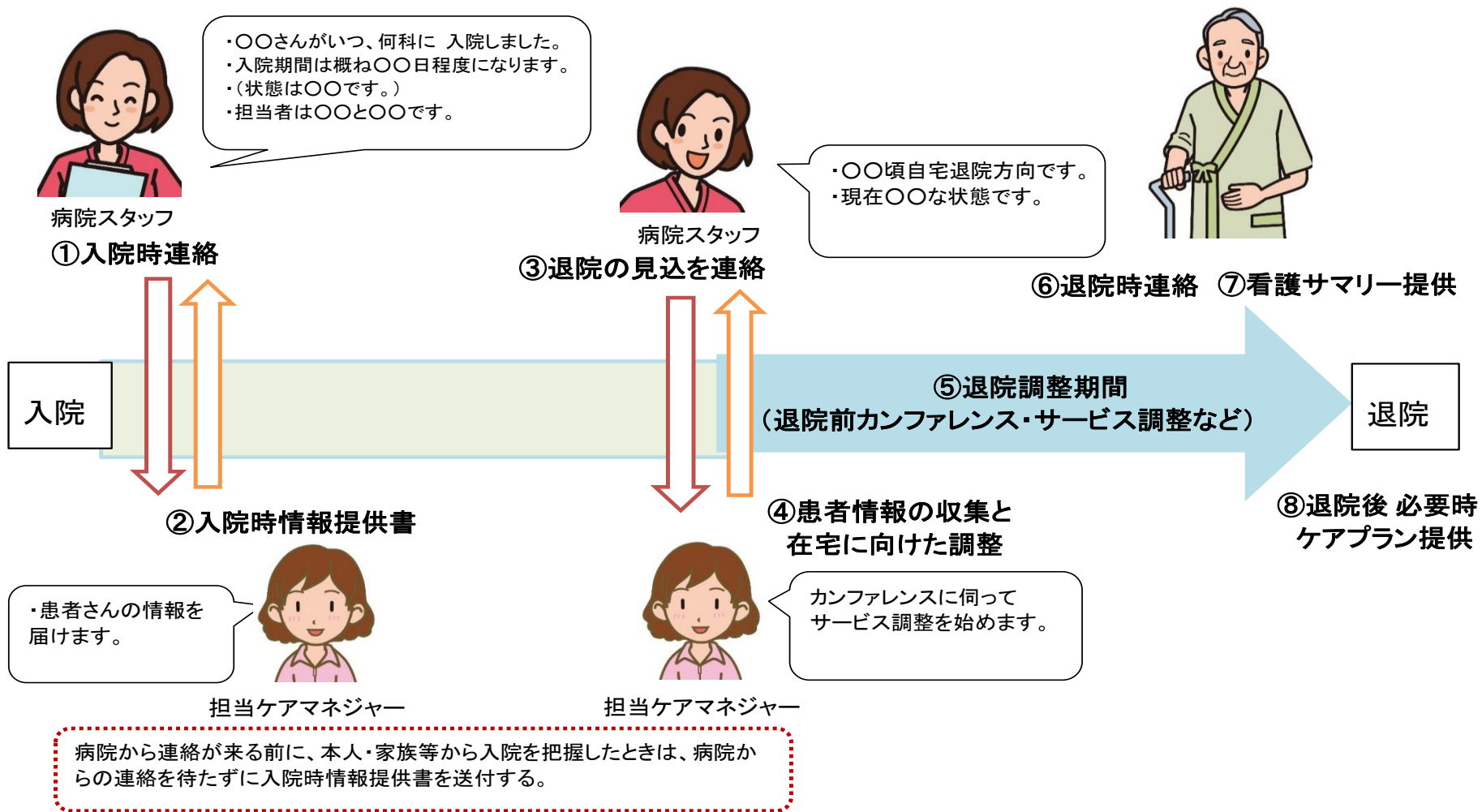
### ①訪問看護ステーション 資源マップ作成

### ②加賀市地域連携実務者連絡会で各医療機関との連携強化

### ③病院薬剤師とかかりつけ薬局との連携

# 4.入院時から早期に医療・介護連携をスムーズに行うため、入院時からの情報共有をルール化

## 退院支援の流れ 入院前にケアマネジャーが決まっている場合





# 今後の課題

## 医療と介護の連携ワーキングより

### ➤ 医療に関すること

- 患者の入院期間の見通しの説明が必要
- 入院の度に本人のADLは低下するが、家族の意向(入院前の姿に戻ってほしい)との認識のずれに対しての説明について
- 救急時に入院したときの本人の情報が分からない
- 医療調整ができていない

### ➤ 介護に関すること

- 医療の知識が不足している
- 患者が退院してもすぐに入院になる

### ➤ 市民に関すること

- 医療と介護の知識の底上げが必要
- 明らかに軽度な症状なのに受診する
- 医療提供体制の制度の変化に気付いていない（関心がない）

# 加賀市の在宅医療・介護連携推進事業

## 【加賀市 在宅医療・介護連携推進事業】

実施主体:加賀市



一部委託:加賀市医師会

### (ア)地域の医療・介護の資源の把握

- ◇在宅医療資源情報を冊子にまとめ関係者に配布
- ◇歯科医院・薬局情報の追加検討

### (イ)在宅医療・介護連携の課題の把握と対応策等の検討

- ①医療と介護の連携WG
  - ◇医療と介護の連携上の課題の解決に向けた検討
  - ◇事例を用いた勉強会の企画
- ②加賀市在宅医療連携推進協議会 幹事会
  - ◇取組状況の確認、情報共有

### (ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◇入院時からの情報共有ルール化の策定
- ◇加賀市地域連携実務者連絡会で医療・介護が互いに必要な情報項目の検討を行う

### (エ)医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◇加賀市医師会が求める情報(経過記録・サマリ)を開示することで、既存ツール改善を図りICTを用いた医療介護情報共有(ID-Link)の利用推進

### (オ)在宅医療・介護連携の相談支援

- ◇地域連携センターつむぎを相談支援の窓口位置づけ在宅医療コーディネーターを配置
- ◇随時相談

### (カ)医療・介護関係者の研修

- ◇多職種による事例を用いた勉強会

- ◇かかりつけ医等認知症対応力向上研修  
地域事例検討会

- ◇脳卒中地域連携パス研修会

### (キ)地域住民への普及啓発

- ◇かが健幸長寿講座、説明会 等  
講演:「在宅医療とものがたり」  
~この街で最期まで自分らしく過ごすために~  
講師:医療法人社団ナラティブホーム  
ものがたり診療所  
所長 佐藤 伸彦 氏
- ◇かもまる講座等  
内容:加賀市における救急医療の現状報告在宅医療と医療提供体制等について

### (ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

- ◇県内他市町の取組状況について情報交換
- ◇加賀地区地域リーダー研修会(南加賀)
- ◇加賀地区県民公開講座(南加賀)

## 【石川県 認知症対策事業】

実施主体:石川県



委託:郡市医師会

- ◇かかりつけ医等認知症対応力向上研修 地域事例検討会

## 【加賀脳卒中地域連携協議会事業】

実施主体:加賀脳卒中地域連携協議会・在宅医療連携グループ共催

- ◇脳卒中地域連携パス研修会

## 【石川県医師会 在宅医療推進事業】

実施主体:石川県医師会



企画運営の委任:郡市医師会、在宅医療連携グループ

- ◇加賀地区地域リーダー研修会
- ◇加賀地区県民公開講座
- ※実施方針は未定